

英語シノニム研究

— remain と stay —

多田羅 平

0. はじめに

動詞 remain と stay は、形容詞や名詞、分詞、前置詞句などの主格補語を後ろに従え、「…のままである」という、主語の置かれた状況や状態が継続していることを表す用法をもつ。英語の非母語話者にとって、主語の状況・状態の継続を表現する場合にどの語を選択することが適切であるかを判断するには、両語の意味的類似性や相違性を理解しておくことが必要となる。本稿は、大規模コーパスを用いて主格補語に従える remain と stay の用例について、各語と好んで用いられる主格補語の種類を中心に分析し、両表現の差異を分析することを目的とする。

1. 先行研究

最初に、状態の継続を表す remain、stay に関する先行研究を概観する。現行の学習英和辞典に目を向けると、(1) の『ウィズダム英和辞典』第3版や (2) の『ジーニアス英和辞典』第5版、(3) の『オーレックス英和辞典』第2版からは、「remain は stay よりかたい語である」という使用域の違いに関する記述は見られるものの、両語と特徴的に共起する主格補語の種類を明らかにした記述はないように見受けられる。

(1) 『ウィズダム英和辞典』第3版 (s.v. STAY)

「2 【stay C】 C のままている, C 〈状態〉である (((よりかたく)) remain) (【!】C は【形】【分詞】【名】や前置詞句)」

(2) 『ジーニアス英和辞典』第5版 (s.v. STAY)

「② [SVC] [SV【副詞(句)】] 〈人などが〉…の(状態の)ままている[ある], …の状態を保つ
◆ (1) C は形容詞(句)・分詞・名詞など. (2) remain より口語的)」

(3) 『オーレックス英和辞典』第2版 (s.v. STAY)

「②((+【補】/【語句】))(ずっと)…のままである[いる] (◆【語句】は状態を表す, remain より((口)))」

次に、人気の高い英米¹⁾ の EFL/ESL 辞典の記述も紹介しておこう。(4) は LDOCE6 の内容で、上記の学習英和辞典と同様、使用域が相違点として指摘されているに過ぎない。OALD9 は remain に対して *rather formal* というレーベルを付し、先の辞書と同様 remain がかたい語であることを暗示しているが²⁾、語義の説明について大きな違いは見られない。

(4) LDOCE6 (s.v. REMAIN)

In everyday English, people usually say something or someone **stays** in a particular state, condition, or place, rather than **remains** in it

語法書である (5) の Swan (2005: 105) も、remain は stay よりかたい語であることを指摘しているが、使用域以外の意味上の相違点については言及していない。

(5) Swan (2005: 105)

To talk about things not changing, we can use *stay*, *keep* or *remain* before adjectives. *Remain* is more formal.

(6) の Alexander (1994: 157) は、remain と stay の2語と動詞 rest の計3語を比較し、主格補語を用いた例文“*Nothing remains/stays the same for ever*”を示しているが、rest の使用が不適切であることを指摘する以上の情報、すなわち、remain と stay の使い分けの基準を示唆する情報には言及していない。

(6) Alexander (1994: 157)

Nothing remains/stays the same for ever. (Not *rests*) (= continue to be)

一方、(7) の小西 (1980: 1500) は主格補語を伴う remain と stay について、remain は障害を克服して同じ状態を維持することを、stay は目的達成を強調する用法があると指摘し、上述した文献と異なり意味上の違いに言及している。また、主格補語として名詞句を用いる場合は remain が好まれるとも指摘している。しかし、生起する主格補語の具体的な種類、つまり、各語に対する適切な主格補語に関する記述は見られない。

(7) 小西 (1980: 1500)

「補語を伴う場合、stay は目的達成を強調するのに対し、remain は障害を克服して同じ状態を維持することを強調する」

(8) 小西 (1980: 1500)

「C に名詞をとる場合には remain を使う方がよい。ただし、その名詞が、spinster、widow、schoolgirl のように地位・身分などを表す場合には stay もよく用いられる³⁾」

(9) の OLT は主格補語を伴う stay について、stay はしばしば awake や healthy など好ましい意味を表す形容詞を従えると記述しているが、名詞や前置詞句の種類に踏み込んだ説明はされていない。

(9) OLT (s.v. REMAIN)

Stay is less formal than **remain** in this meaning, and is the word used in everyday speech. It is

often followed by adjectives with positive associations: *to stay awake/alive/afloat/cool/healthy/dry/sober/calm/sane/constant/faithful/alert ...*

(10) の Larsen-Freeman and Celce-Murcia (2016: 59) は、remain が分詞形容詞を従える傾向があると記しているが、分詞形容詞の具体的な種類には言及しておらず、この情報だけでは remain の意味的特徴を把握するには至らないと言える。

(10) Larsen-Freeman and Celce-Murcia (2016: 59)
state corpulas (tend to take participial adjectives): They *lie, remain, rest, stand* protected.

(11) の Quirk et al. (1985: 1172) は、自由度や容認度は異なるものの、remain と stay は名詞句も主格補語として従えると指摘している。しかし、各語の後でどのような名詞句を主格補語にとるかについて詳細な説明は記されていない。

(11) Quirk et al. (1985: 1172)
remain (uncertain) [N]
keep (silent) [N]
stay (motionless) [N]
... The verbs marked [N] in the list also occur with a noun phrase complement (though not all with the same freedom or acceptability; ...).

(12) の守屋 (1991: 135) は補語構文の remain について、肯定・否定の対立をもつ形容詞が主格補語に生起する場合、否定を表す方が生起することを根拠に、「状態の変化が期待されるような状況であるにもかかわらずその状態が継続している」という否定的または消極的な継続を表すと主張している。

(12) 守屋 (1991: 135)
「remain が表わす継続性というのはいわば『状態の変化が期待されるような状況であるにもかかわらずその状態が継続している』といった否定的あるいは消極的な継続性であり、それはこの動詞のもっとも基本的な『残っている』という意味から生ずるものと思われる」

(13) の奥田 (2003: 44) は状態の継続を表す remain について、人間が主語であり、補語に意志により制御⁴⁾可能な状態がくる場合、意図的に状態を保つという解釈と、主語の意図には言及せず依然として状態が続くという解釈のいずれも可能であると指摘している。

(13) 奥田 (2003: 44)
「(11a) (=He remained silent.) のように、人間が主語であり、remain の補語に意志によりコントロール可能な状態がくる場合には、(i) 『彼は (故意に) 黙っていた』、(ii) 『(相変わらず) 彼の口からは言葉が出なかった』という2つの意味が可能である」

(14) の Dowty (1978: 422-423) は主格補語を従える remain について、状態を暗示する読みが与えられなければならない、したがって、分詞形容詞を従える場合、by 句を伴うと動作の解釈が与えられて容認不可能になると指摘している。本稿では、最初に指摘した通り、主格補語を従える remain は状態を表すことが既に明らかとなっているため、Dowty の指摘は本稿に大きく貢献することにはつながらないと考えられる。

(14) Dowty (1978: 422-423)
John remained {surprised/*surprised by Mary}.

ここまで、状態を表す remain および stay に関する記述を概観した。次の第2節では、大規模コーパスを用いて、実際にこれらの語がどのような振る舞いの違いを見せるのかを明らかにする。

2. WordbanksOnline を用いた分析

2.1. コーパス

本節では、現在公開されている大規模コーパス WordbanksOnline [約5億5100万トークン；2016年5月現在] [http://wordbanks.harpercollins.co.uk/] を使って、remain と stay の各語の後に特徴的に用いられる主格補語を形容詞、名詞句、前置詞句の種類観点から分析する。最初に (15) をご覧いただきたい。

- (15) 検索手順
- (a) PoS [品詞指定] で verb を指定し、lemma で検索。
 - (b) stay [109,542例；活用形を含む]。remain [148,980例；活用形を含む] から109,542例を無作為抽出。
 - (c) 右側1語に現れる特徴的な形容詞、及び右側2語から右側3語の範囲内に現れる特徴的な語を基に特徴的に共起する名詞句・前置詞句を観察。

(15) では、remain と stay の各語の後に用いられる主格補語を抽出する手順を (a) から順に記している。最初に (a) をご覧いただきたい。ここでは、remain と stay の両語の品詞を動詞に指定し、それらが用いられた用例を抽出した。その結果、remain は全部で148,980例、stay は全部で109,542例が抽出された。次に (b) をご覧いただきたい。各語が用いられた用例を抽出した後は、比較分析ができるように、Sample 機能を用いて、抽出数の少ない stay に合わせて、remain の全抽出数から109,542例を無作為抽出した。最後に (c) をご覧いただきたい。同数の用例に現れた remain、stay の両語に対して collocation 機能を用い、特徴的に主格補語として現れる形容詞、名詞句、前置詞句を分析した。主格補語として用いられる形容詞は、各語の右側1語に現れる特徴的な語を対象に抽出している。そして、主格補語として用いられる名詞句、

および前置詞句は、各語の右側2語から右側3語の範囲内に現れる特徴的な語を基に抽出している。

2.2. 分析

2.2.1. 形容詞

ここでは、remain、stay の順に、それぞれの右側1語に生じた語を基に、特徴的に用いられている形容詞を分析する。

2.2.1.1. remain に用いられる形容詞

ここでは、remain の後で主格補語として特徴的に用いられる形容詞を分析していく。(16) には、remain の右側1語に生起する語を、*t*スコアが高い順に50語並べたリストが示されている。この中に網掛けをした語が20語あるが、これらは右側1語に生起する頻度数が stay の右側1語に生起する頻度数の2倍以上確認された形容詞を示している。これら20語の形容詞が主格補語として用いられている用例の文脈を調査し、「人」に対して主に用いられるものと、人以外の「物・事」に対して主に用いられているものに分類した。分類した結果は(17)にまとめている〔各用例中及び表中の太字、本文中の下線は筆者；以下同様〕。

(16) remain の R1 に生起する *t*-score 順上位50語のリスト

	word	frequency	<i>t</i> -score		word	frequency	<i>t</i> -score
1	in	10.622	85.859	26	loyal	254	15.837
2	a	6.325	52.670	27	uncertain	247	15.615
3	on	3.004	42.086	28	within	290	15.514
4	at	2.462	39.178	29	constant	246	15.492
5	silent	809	28.341	30	stable	235	15.126
6	open	802	26.920	31	l	254	15.090
7	under	781	26.155	32	behind	271	14.856
8	an	1.227	26.125	33	firmly	224	14.818
9	unchanged	674	25.911	34	low	261	14.709
10	unclear	641	25.263	35	so	527	14.636
11	strong	630	24.240	36	hopeful	212	14.448
12	committed	561	23.373	37	unknown	214	14.442
13	as	1.426	23.179	38	unbeaten	207	14.304
14	close	606	23.057	39	there	491	14.151
15	high	584	22.229	40	competitive	207	14.129
16	intact	491	22.114	41	unresolved	193	13.869
17	one	809	20.610	42	until	262	13.796
18	anonymous	382	19.492	43	convinced	169	12.951
19	confident	385	19.381	44	active	176	12.926
20	calm	366	18.932	45	of	3,081	12.897
21	largely	351	18.474	46	upbeat	164	12.756
22	relatively	316	17.525	47	steady	163	12.557
23	free	356	17.522	48	faithful	157	12.439
24	optimistic	289	16.897	49	outside	191	12.414
25	very	439	16.835	50	alive	164	12.396

(17) 「remain + 形容詞」に対する主語の分類

主語の種類	形容詞
人	silent, committed, anonymous, confident, free, optimistic, uncertain , hopeful, unbeaten , convinced, upbeat
物・事	unchanged , unclear , strong, intact, uncertain , constant, stable, unknown , unresolved , steady

そして、「人」の主格補語として用いられている形容詞を用いた用例を(18)から(22)に、そして、「物・事」の主格補語として用いられている形容詞を用いた用例を(23)から(27)に挙げている。「人」を主語とする(18)から(22)の用例は、それぞれ、「あなたには黙秘権がある」、「ブッシュ大統領はその平和計画に取り組んでいる」、「匿名であることを希望する」、「牛肉の供給の安全に自信を持っている」、「保釈金を払って自由の身である」の意味を表している。

(18) Mr. Blazak, you are under arrest for the assault and battery of Luria Blas. You have the right to an attorney and you have the right to **remain silent**. Anything you say can and will be used against you in a court of law. Put your hands behind your head and turn around.
— usbooks, BU-cM022012

(19) McClellan said President Bush **remained committed** to the peace plan, but he said the bombings “underscore the need to fight terrorism and the need to dismantle terrorist organizations and groups like Hamas.”
— usnews, NU4--030911

(20) A franchise owner, who wished to **remain anonymous**, said the gangs regarded the stores as soft targets and said robberies were on the increase.
— safrica, NS2--050505

(21) “USDA **remains confident** in the safety of the U.S. beef supply,” said Clifford, adding that the animal tested Tuesday did not enter the human food chain.
— cannews, NC4--040630

(22) Following his conviction Ali had been sentenced to five years in jail, but had **remained free** on bail during the process of his court appeals.
— usspok, SU3--020616

続いて、「物・事」を主語にとる(23)から(27)の用例は、それぞれ、「失業率が変わっていない」、「死因が明らかになっていない」、「経済が安定している」、「年をとっても性欲が衰えな
いでいる」、「彼の先行きは不透明である」の意味を表している。

(23) The U. S. unemployment rate **remained unchanged** from January at 5.6 per cent as roughly 392,000 civilians quit looking for work last month.
— cannews, NC2--040317

(24) According to news reports, Sabri al-Bana, also known as Abu Nidal, died of gunshot wounds at his home in Baghdad, Iraq. The circumstances of his death **remain unclear**.

— usspok, SU3--020822

(25) President Bush said the economy **remains strong** despite some negative trends.

— usnews, NUB--020926

(26) Although sexual desire **remains intact** in old age if a reasonable state of health is maintained, the practical matter of having an interested partner available for sexual activity poses a major obstacle for some.

— usbooks, BU-Wx941282

(27) Last year, Igglesden was diagnosed as having an inoperable brain tumour and his future **remains uncertain**.

— sunnow, NBA--000127

これらの用例を観察すると、以下の2点を確認できる。1つ目は、「remain + 形容詞」は「人」、「物・事」のいずれに対しても用いられること、2つ目は、否定の接頭辞 un- を伴う語が頻繁に現れていることである。一般に、否定の接頭辞 un- を伴う派生形は、それを伴わない形を想起させるため、remain の後に現れると、un- を伴わない形の状態が前提として期待されていたのにも関わらず、その状態に達していないことを表すようになる。例えば、remain unchanged は「変化する」ことが期待されていた状況で、実際には変化が起こらないままであることを表すことになる。この否定の接頭辞を伴う語が remain の後に続きやすいという傾向は、(12) で示した守屋 (1991) の見解とも矛盾しない。

2.2.1.2. stay に用いられる形容詞

ここでは、stay の後で主格補語として特徴的に用いられる形容詞を分析する。(28) には、先ほどの remain の項目と同様、右側1語に生起する語を、*t*スコアが高い順に50語並べたリストを示しており、これらのうち、右側1語に生起する頻度数が remain の右側1語に生起する頻度数の2倍以上確認された形容詞は網掛けを施している。この形容詞は全部で12種類確認された。これら12語の形容詞が主格補語として用いられている用例の文脈を調査し、「人」に対して主に用いられるものと、人以外の「物・事」に対して主に用いられているものに分類した。分類した結果は (29) にまとめている。

(28) stay の R1に生起する *t*-score 順上位50語のリスト

	word	frequency	<i>t</i> -score		word	frequency	<i>t</i> -score
1	in	18,370	122.454	26	power	451	19.741
2	at	8,167	84.639	27	ahead	395	19.203
3	with	8,261	83.913	28	off	491	18.603
4	on	7,312	77.356	29	indoors	313	17.663
5	away	3,565	58.944	30	afloat	292	17.071
6	here	2,995	53.617	31	fit	305	16.921
7	out	2,932	50.371	32	silent	290	16.858
8	there	2,866	50.221	33	long	372	16.431
9	up	2,123	41.503	34	inside	294	16.258
10	home	1,691	39.501	35	longer	280	16.035
11	put	1,111	31.582	36	around	344	15.723
12	alive	893	29.707	37	strong	269	15.085
13	behind	892	28.981	38	TRUE	249	14.924
14	together	880	28.839	39	tuned	223	14.731
15	for	2,107	27.252	40	cool	223	14.530
16	close	725	25.499	41	clear	251	14.282
17	until	691	24.815	42	down	351	14.224
18	where	726	23.821	43	brown	207	14.174
19	awake	570	23.812	44	quiet	180	12.987
20	within	591	23.249	45	warm	181	12.974
21	open	589	22.636	46	positive	181	12.882
22	focused	512	22.022	47	loyal	157	12.402
23	healthy	473	21.508	48	competitive	147	11.818
24	calm	468	21.457	49	safe	153	11.635
25	overnight	443	20.936	50	married	140	11.596

(29) 「stay + 形容詞」に対する主語の分類

主語の種類	形容詞
人	alive, awake, focused, healthy, afloat, fit, tuned, cool, clear, warm, safe, married
物・事	

(29) が示すように、stay と特徴的に用いられる形容詞は主に人に対して用いられるものであることが観察された。代表的な用例は (30) から (34) に挙げており、それぞれ、「生きている」、「起きている」、「集中している」、「健康でいる」、「倒産せずに無事でいる」の意味を表している。

(30) A patient with mild diabetes may only be required to alter his or her diet to achieve a stable blood sugar target. However, a person with insulin-dependent diabetes may require 5-6 insulin injections daily just to **stay alive**.
— brbooks, BB-Fm022271

(31) If it's difficult to **stay awake**, take an afternoon nap of no more than three hours. You'll feel refreshed but still ready to go to bed at your new bedtime.
— usnews, NUB--020831

(32) Russell said: “We mustn’t get carried away by this good win. We’ve Scotland tomorrow and we must keep our feet firmly on the ground, **stay focused** and train hard to beat them.”

— sunnow, NBA--040520

(33) He says he was trying to lose weight to **stay healthy** for wife Maura and kids Charles and Hannah, not to make himself a more “attractive” head-coaching candidate.

— usnews, NUA--021208

(34) Locally, Mitsubishi underwent drastic changes to **stay afloat** by closing its Lonsdale engine plant, with the loss of 650 jobs over 18 months.

— oznews, NA2--041229

形容詞を主格補語として従える stay は人に対して用いることが好まれるという見解は、他の形容詞を観察した際にも導き出される。例えば、(35) のように remain に主格補語として strong が従えられる場合、この strong は「〈経済が〉安定している」のような意味で多く用いられるのに対し、(36) のように stay に主格補語として strong が続く場合、その strong は「〈人が〉(精神的に)強い」という意味で多く用いられている。

(35) President Bush said the economy **remains strong** despite some negative trends.

— usnews, NUB--020926

(36) Marjie Furlong, 60, was told her beloved son had been killed three days after her mother died. Despite the double blow she **stayed strong** for the sake of Eugene’s sons, Michael, 12, Eugene junior, 20, and his four brothers.

— brregnews, NB7--030515

このように、「stay + 形容詞」は主に人の状態を表す際に用いられるが、その状態は「生きている」、「健康でいる」、「倒産しないでいる」のように好ましい様子を暗示している。また、「チャンネルを変えないでいる」、「冷静でいる」のように、主語の意志である程度制御されている様子も暗示している。例えば、(36) の用例に着目すると、これには、「不幸が2つ重なったにも関わらず、彼女は気丈に振舞っている」の解釈が得られることになる。一方、(35) の用例には、前の項で触れたが、期待・予期されている状態に変化していない状態が続くことを暗示する remain が用いられているため、「負の動向があるにも関わらず、経済は依然として安定している」の意で用いられている。

2.2.2. 名詞句〔各用例中の太字は筆者〕

ここでは、remain、stay の順に、それぞれの右側2語から右側3語の範囲内に生じた語を基に、特徴的に用いられている名詞句を分析する。

2.2.2.1. remain に用いられる名詞句

最初に、remain の後で主格補語として特徴的に用いられる名詞句を分析する。(37) には、remain の右側2語から右側3語の範囲内に生起する語を、*t*スコアが高い順に100語並べたリストを示している。この中に網掛けをした語が17語あるが、これらは右側2語から右側3語の範囲内に生起する頻度数が stay の右側2語から右側3語の範囲内に生起する頻度数の2倍以上確認された名詞であることを示している。このうち、名詞句として現れるものは全部で8語確認された。この8語の名詞が主格補語として用いられている用例の文脈を調査し、「人」に対して主に用いられるものと、人以外の「物・事」に対して主に用いられているものに分類した。分類した結果は (38) にまとめている。

(37) remain の R2-R3に生起する *t*-score 順上位100語のリスト

	word	frequency	<i>t</i> -score		word	frequency	<i>t</i> -score
1	the	18,319	95.911	31	large	367	17.365
2	.	14,929	83.214	32	throughout	309	17.056
3	in	5,218	47.690	33	this	843	16.863
4	,	9,295	46.620	34	power	332	16.477
5	for	3,669	46.439	35	high	351	16.237
6	of	5,657	43.767	36	control	309	16.133
7	to	5,676	43.008	37	even	416	16.053
8	and	5,242	40.983	38	force	337	16.036
9	see	1,522	35.414	39	while	377	15.952
10	until	1,281	34.710	40	custody	250	15.673
11	same	1,199	33.249	41	only	454	15.589
12	as	1,850	30.208	42	cent	317	15.447
13	about	1,152	27.684	43	top	308	15.440
14	but	1,482	26.633	44	its	490	15.378
15	his	1,501	26.304	45	game	346	15.345
16	a	3,671	25.332	46	whether	287	15.254
17	on	1,723	24.710	47	over	453	15.203
18	place	661	23.326	48	however	290	14.883
19	their	934	22.243	49	because	380	13.985
20	mystery	483	21.850	50	her	624	13.807
21	with	1,450	21.426	51	during	270	13.639
22	at	1,284	21.375	52	strong	224	13.524
23	most	605	20.816	53	member	242	13.368
24	be	5,006	20.745	54	hospital	209	13.337
25	after	681	19.912	55	Iraq	236	13.310
26	that	1,759	18.573	56	problem	258	13.284
27	"	2,100	18.322	57	today	246	13.233
28	by	998	17.847	58	effect	205	13.115
29	per	410	17.805	59	's	1,055	13.057
30	despite	343	17.547	60	long	265	12.894

	word	frequency	t-score		word	frequency	t-score
61	since	261	12.729	81	low	169	11.203
62	major	203	12.704	82	office	165	11.100
63	good	388	12.626	83	issue	188	11.086
64	home	276	12.601	84	concern	163	10.976
65	from	760	12.577	85	charge	174	10.969
66	question	221	12.577	86	percent	148	10.743
67	important	203	12.402	87	much	243	10.706
68	unchanged	154	12.304	88	track	138	10.674
69	popular	168	12.221	89	stable	119	10.623
70	critical	158	12.135	90	serious	136	10.549
71	threat	164	11.945	91	they	661	10.494
72	priority	145	11.716	92	big	193	10.313
73	hand	219	11.588	93	condition	136	10.264
74	close	203	11.552	94	an	553	10.254
75	key	160	11.519	95	although	154	10.227
76	part	225	11.499	96	our	270	10.206
77	friend	188	11.493	97	one	434	10.139
78	country	230	11.342	98	position	140	10.128
79	constant	134	11.316	99	under	189	10.106
80	doubt	149	11.220	100	house	163	10.016

(38) 「remain + 名詞句」に対する主語の分類

主語の種類	名詞
人	threat ⁵⁾
物・事	mystery, problem, question, threat, priority, issue, concern

(38) が示すように、remain と特徴的に用いられる名詞句は主に物・事に対して用いられるものであることが観察された。代表的な用例は (39) から (43) に挙げており、それぞれ、「原因は全くの謎である」、「エイズがより大きな問題となっている」、「イランがウランを濃縮し再生する権利を放棄するかどうか未解決の問題である」、「テロが脅威である」、「安全が最優先事項である」の意で用いられている。このように、主格補語として remain に続く名詞句は、「脅威」、「問題」など、好ましくない状況を暗示するものや、「謎」のように事態の進展の妨げを暗示するものであることが窺える。

(39) Her condition deteriorated so much that she now suffers brain damage and the family have been told there is no hope of a recovery. The cause **remains** a total **mystery**.

— brregnews, NB7--020914

(40) Despite the prominence in the public mind of China's battle with Severe Acute Respiratory Syndrome, many health experts say AIDS **remains** a greater **problem** for the country. — usspok, SU3--031127

(41) It **remains** an open **question** whether Iran will surrender its right to both enrich uranium and reprocess it, said a senior administration official who briefed reporters on the condition of anonymity. — usnews, NUB--050312

(42) Mr. Bush says that terrorism **remains** a **threat**. — usspok, SU3--040128

(43) Security **remains** a top **priority** both for Iraq and neighboring countries fearful of its negative impact. — usspok, SU3--040321

2.2.2.2. stay に用いられる名詞句

(44) には、stay の右側2語から右側3語の範囲内に生起する語を、*t*スコアが高い順に100語並べたリストを示している。この中に網掛けをした語が5語あるが、これらは右側2語から右側3語の範囲内に生起する頻度数が remain の右側2語から右側3語の範囲内に生起する頻度数の2倍以上確認された名詞であることを示している。しかし、この範囲内に stay の後で特徴的に用いられる名詞句の主格補語は確認されなかった。確認したところ、これら5語は stay の後で特徴的に用いられる前置詞句内に用いられていることが観察された。この結果、第1節で挙げた(8)小西(1980: 1500)が指摘するように、名詞句を主格補語として用いる場合は remain が好まれることが窺える。

(44) stay の R2-R3 に生起する *t*-score 順上位100語のリスト

	word	frequency	<i>t</i> -score		word	frequency	<i>t</i> -score
1	the	20,693	106.745	17	as	1,899	30.940
2	.	14,679	81.856	18	at	1,692	28.539
3	for	4,757	56.559	19	his	1,634	28.501
4	and	6,405	51.608	20	all	1,203	28.405
5	home	2,221	45.713	21	I	1,959	27.512
6	"	4,048	43.814	22	but	1,516	27.206
7	from	2,662	43.585	23	their	1,168	26.737
8	,	8,471	39.882	24	me	917	26.153
9	until	1,636	39.491	25	my	955	26.003
10	a	4,627	36.618	26	hotel	674	25.587
11	night	1,289	34.542	27	touch	677	25.557
12	long	1,248	33.767	28	of	3,939	25.077
13	in	3,738	32.139	29	him	892	24.558
14	with	2,070	31.559	30	course	642	24.056
15	same	1,082	31.444	31	?	962	23.208
16	her	1,483	31.262	32	because	723	22.895

	word	frequency	t-score		word	frequency	t-score
33	top	560	22.100	67	hospital	262	15.186
34	you	1,253	21.654	68	forever	231	15.038
35	late	536	21.580	69	day	390	14.888
36	us	585	21.419	70	enough	283	14.844
37	this	1,040	21.291	71	game	330	14.832
38	he	1,550	21.041	72	till	207	14.175
39	while	569	21.033	73	trouble	211	13.797
40	way	612	20.879	74	job	253	13.658
41	place	535	20.481	75	family	273	13.617
42	house	479	20.281	76	during	269	13.603
43	longer	434	20.272	77	Iraq	239	13.420
44	after	694	20.218	78	so	485	13.349
45	it	1,694	20.009	79	office	217	13.209
46	friend	445	19.653	80	London	229	13.195
47	school	453	19.462	81	than	404	12.966
48	they	997	19.186	82	club	214	12.935
49	your	554	18.213	83	week	302	12.926
50	year	684	18.160	84	room	214	12.613
51	bed	352	18.133	85	work	343	12.556
52	if	667	17.827	86	Premiership	163	12.387
53	or	743	17.536	87	two	361	12.177
54	'	840	17.440	88	another	250	12.032
55	one	664	17.123	89	our	316	12.022
56	them	535	16.811	90	fight	187	12.012
57	to	3,417	16.785	91	shape	155	11.882
58	here	392	16.732	92	ahead	164	11.764
59	when	639	16.694	93	close	208	11.759
60	on	1,287	16.438	94	line	194	11.651
61	watch	312	16.209	95	foot	168	11.547
62	power	322	16.174	96	—	460	11.327
63	there	560	16.166	97	even	277	11.321
64	business	330	15.932	98	jail	140	11.268
65	we	781	15.847	99	New	212	11.251
66	she	717	15.675	100	front	162	11.085

2.2.3. 前置詞句

remain および stay の後で特徴的に用いられる主格補語としての前置詞句は、それぞれ、(37) と (44) の表を基に抽出している。最初に、remain に用いられる主格補語としての前置詞句を概観する。

2.2.3.1. remain に用いられる前置詞句

ここでは、remain の後で主格補語として特徴的に用いられる前置詞句を分析する。(45) に示すように、remain の後で特徴的に用いられる前置詞句は全部で9種類確認された。この9種

類の前置詞句が主格補語として用いられている用例の文脈を調査し、同表で、「人」に対して主に用いられるものと、人以外の「物・事」に対して主に用いられているものに分類してある。

(45) 「remain + 前置詞句」に対する主語の分類

主語の種類	名詞
人	at large, in control, in custody, in charge of, in ... condition
物・事	in force, in effect, in doubt, on track

「人」の主格補語として用いられている前置詞句を用いた用例を(46)から(50)に、そして、「物・事」の主格補語として用いられている前置詞句を用いた用例を(51)から(54)に挙げている。「人」を主語にとる(46)から(50)の用例は、それぞれ、「容疑者が逃亡中である」、「政府が冷静である」、「被告が拘置中である」、「パレスチナ自治政府を監督している」、「危篤状態にある」の意味で用いられている。

(46) Serbian police swept through the underworld yesterday in their hunt for the killers of Prime Minister Zoran Djindjic, making dozens of arrests. But three prime suspects **remained at large**.
— nznews, NN1--030315

(47) Following the attacks in Niamey, the Prime Minister went on national radio and reassured the population that the government **remained in control**. — usspok, SU3--020805

(48) Two 14-year-olds were arrested last week. One pleaded guilty Tuesday to aggravated assault, armed robbery and conspiracy and will **remain in custody** until his sentencing hearing next month. — cannews, NC4--050116

(49) Arafat **remains in charge of** the Palestinian Authority, though, and will have final say in negotiations and over security. — usnews, NU4--030315

(50) A cyclist who suffered severe head injuries after being struck by a car **remains in critical condition**, Toronto Police said yesterday. — cannews, NC7--030103

続いて、「物・事」を主語にとる(51)から(54)の用例は、それぞれ、「夜間外出禁止令が施行されている」、「ハリケーン注意報が発令されている」、「赤ちゃんの行く末が分かっていない」、「経済の回復がうまく進んでいる」の意味で用いられている。

(51) A strict curfew **remains in force** at the Bureij refugee camp on the occupied Gaza Strip, where an Israeli soldier was killed on Thursday. — brspok, SB2--900923

(52) A hurricane warning **remains in effect** for a 100-mile stretch of the south Texas coast from Brownsville to Baffin Bay. — usnews, NUB--030816

(53) Mother and father, who married just 16 months ago, have vowed not to leave the unit while their baby's future **remains in any doubt**. — sunnow, NBA--020106

(54) The Tankan survey showed that the two-year economic recovery **remains on track**, with a wide range of businesses optimistic about prospects. — usnews, NU1--040708

これらの用例分析の結果、「remain + 前置詞句」は2.2.1.1. で見た「remain + 形容詞」と同様、「人」、「物・事」のいずれに対しても用いられることが確認できる。また、「人」を主語にした場合、「拘置中である」や「危篤状態にある」のように、明らかに自らの意志では継続できない状態に対しても用いられている。

2.2.3.2. stay に用いられる前置詞句

ここでは、stay の後で主格補語として特徴的に用いられる前置詞句を分析する。(55) に示すように、stay の後で特徴的に用いられる前置詞句は全部で5種類確認された。この5種類の前置詞句が主格補語として用いられている用例の文脈を調査し、同表で、「人」に対して主に用いられるものと、人以外の「物・事」に対して主に用いられているものに分類している。

(55) 「stay + 前置詞句」に対する主語の分類

主語の種類	名詞
人	in touch, in business, out of trouble, in shape, on <i>one's</i> feet
物・事	

(55) が示すように、stay と特徴的に用いられる前置詞句は主に主語が人の場合に用いられるものであることが観察された。代表的な用例は (56) から (60) に挙げており、それぞれ、「連絡を取り合っている」、「事業が上手く行っている」、「やっかいな状況に巻き込まれないでいる」、「健康を維持する」、「立ち続ける」などの意を表している。

(56) They **stayed in touch** by e-mail during college and graduate school—and in 1995 started their business. — usnews, NU6--020906

(57) We want the legal system to be fair and balanced so people can get good health care, so small businesses can afford to **stay in business**. — usnews, NU7--041216

(58) He helped a lot of young black people **stay out of trouble**. — usnews, NUB--040917

(59) Dick and Jane are playing middle-aged tennis to **stay in shape**.
— usbooks, BU--M951427

(60) Erik tried to **stay on his feet** by leaning against the wall, his knees shaking from his hangover, ...
— usbooks, BU-fM952452

これらの用例から観察されるように、「stay + 前置詞句」は「stay + 形容詞」と同様、好ましい状況を描写する際に好んで用いられることが窺える。また、これらの状況は主語の意志を伴うものであるため、意志を伴って持続される状況に対して好んで用いられることが分かる。

3. おわりに

本稿では、主語の状態を表す remain と stay の両表現の意味的差異を、主格補語の種類観点から考察した。remain は「人」と「物・事」のいずれの状態を表す際にも使用されるのに対し、stay は「人」の置かれた状態を表す際に用いるのが好まれることを観察した。また、remain は期待されている状態が達成できずにいることや、好ましくない状態を表す際にも用いられるのに対し、stay は主に好ましい状態を表す際に用いられることが確認された。「人」の状態について述べる際、remain は主語の意志で継続することが明らかに不可能な状態を表す際にも用いられる一方、stay は通例主語の意志を伴う状態を表す際に用いられることが観察された。

remain および stay が従える主格補語の性質に一定の傾向が見られることを把握しておくことで、今後、非英語母語話者が remain と stay を使い分ける際の指針の一つとなれば幸いである。

注

- 1) LDOCE6と OALD9は英の辞典だが、注2) で扱う MWALED は米の辞典であるため、英米と表記している。
- 2) OALD9では remain がかたい語であることが記述されているが、stay との比較を意識した説明にはなっていない。また、MWALED (s.v. STAY) は stay が remain と類義関係にあることを指摘しているが、使用域の違いは指摘していない。
- 3) spinster, widow, schoolgirl のそれぞれについて、[lempos="stay-v"]|0,3|[lempos="spinster-n"]、[lempos="stay-v"]|0,3|[lempos="widow-n"]、[lempos="stay-v"]|0,3|[lempos="schoolgirl-n"] の検索式を用い、これらの語が主格補語として用いられる頻度を調べたところ、spinster は1例のみ確認され、widow, schoolgirl は全く確認されず、(8) 小西 (1980: 1500) とは異なる結果が導き出された：

If I'd known what a business getting married was I'd have **stayed a spinster** for life.

— brbooks, BB--F89-109

また、remain が上記3語を主格補語にとる用例数を確認するために、[lempos="remain-v"][]0,3|[lempos="spinster-n"], [lempos="remain-v"][]0,3|[lempos="widow-n"], [lempos="remain-v"][]0,3|[lempos="schoolgirl-n"] の検索式を用いて調べたところ、spinster は6例、widow は2例確認されたが、schoolgirl は全く確認されなかった：

Mary **remained** a **spinster**, who lived with her mother.

— brbooks, BB-Ym86-131

She **remained** a **widow** until 2000 when she married Lord Griffiths.

— times, NB1--040504

コーパスを変え、Corpus of Contemporary American English (COCA) [収録語数約5億2000万] (<http://corpus.byu.edu/coca/>) を用いて確認してみた。collocates 機能を用いて stay、remain に対し ([remain],[v*]、[stay],[v*] の検索式を使用)、右側3語以内に spinster、widow、schoolgirl ([spinster],[n*]、[widow],[n*]、[schoolgirl],[n*] の検索式を使用) が主格補語として現れる用例数を調べたところ、stay は全く確認されなかった。一方、remain はそれぞれについて3例、9例、0例確認された：

The spoiled and insolent Isabella was thirty and three, a princess, and yet after five attempts at a match, she **remained** a **spinster**; it was unnatural.

— 2006, FIC, Bk:PhysiciansTale

Perhaps she sees you as a suitor. I believe she **remains** a **widow**.

— 2011, FIC, FantasySciFi

以上の調査より、頻度数はそれほど多くはないものの、身分を表す spinster、widow について言えば、remain の主格補語として用いられる方が好まれることが示されている。

- 4) 奥田 (2003: 44) は「コントロール」という表現を使用しているが、本稿は「制御」という表現を用いている。

- 5) 「人」を主語にとり threat を主格補語とする remain が用いられた用例には次のようなものがある：

But men like Osama bin Laden and Saddam Hussein **remain** a deadly **threat** to world peace.

— sunnow, NBA--020907

参考文献

- Alexander, Louis George (1994) *Right Word Wrong Word: Words and structures confused and misused by learners of English*. Harlow: Longman.
- Delacroix, Laurence (ed.) (2014) *Longman Dictionary of Contemporary English*. Sixth Edition. Harlow: Pearson Education Limited. [LDOCE6]
- Deuter, Margaret, Jennifer Bradbery and Joanna Turnbull (eds.) (2015) *Oxford Advanced Learner's Dictionary of Current English*. Ninth Edition. Oxford: Oxford University Press. [OALD9]
- Dowty, David (1978) "Governed Transformation as Lexical Rules in a Montague Grammar," *Linguistic Inquiry* 9, 393-426.
- 井上永幸・赤野一郎 (編) (2012) 『ウィズダム英和辞典』第3版. 三省堂.
- 小西友七 (編) (1980) 『英語基本動詞辞典』研究社.
- Larsen-Freeman, Diane and Marianne Celce-Murcia (2016) *The Grammar Book: Form, Meaning, and Use for English Language Teachers*. Third Edition. Boston: National Geographic Learning.
- Lea, Diana (ed.) (2008) *Oxford Learner's Thesaurus: A Dictionary of Synonyms*. Oxford: Oxford University Press. [OLT]

多田羅平

- 守屋哲治 (1991) 「英語継続相動詞の認知論的研究」『北陸大学紀要』第15号、北陸大学、pp. 131-42.
- 南出康世 (編) (2014) 『ジーニアス英和辞典』第5版. 大修館.
- 野村恵造・花本金吾・林龍次郎 (編) (2013) 『オーレックス英和辞典』第2版. 旺文社.
- 奥田雅信 (2003) 「Remain の意味論：認知的観点から」『大手前大学人文科学部論集』第4巻、大手前大学、pp. 39-52.
- Perrault, Stephen J. (ed.) (2008) *Merriam-Webster's Advanced Learner's English Dictionary*. Springfield: Merriam-Webster. [MWALD]
- Quirk, Randolph, Sydney Greenbaum, Geoffrey Leech, and Jan Svartvik (1985) *A Comprehensive Grammar of the English Language*. Harlow: Pearson Education Limited.
- Swan, Michael (2005) *Practical English Usage*. Third edition. London: Oxford University Press.

コーパス

- Corpus of Contemporary American English (COCA). (2015; 533,788,932 words). Provo, UT: Brigham Young University.
- WordbanksOnline. (2016; 551, 531, 292 tokens). Glasgow: HarperCollins Publishers.

A Study of English Synonyms: *remain* and *stay*

TATARA Taira

The objective of this paper is to explore semantic and collocational differences between *remain* and *stay* employing the large-scale corpus, *WordbanksOnline*. Although both *remain* and *stay* are used to convey that a subject in a sentence is in a particular state or condition, their usages are different from each other in terms of subjects and subjective complements. First, *remain* takes both animate and inanimate subjects, while *stay* more typically takes animate subjects. Second, *remain* is often followed by words containing the prefix *un-* like *unchanged*, *unresolved*, or *unknown*, or by words which imply unfavorable situations such as *problem*, *threat*, or *issue*, while *stay* tends to be followed by words or phrases which imply favorable situations as in *alive*, *healthy*, *afloat*, or *out of trouble*. Furthermore, when *remain* and *stay* are both used with people as the subject, *remain* is followed by expressions which are controlled by the subject (e.g. *silent*, *committed*, or *anonymous*) or not controlled by the subject (e.g. *in custody*, or *in critical condition*). *Stay*, however, is usually followed by expressions which are controlled by the subject (e.g. *focused*, *tuned*, or *in touch*).